

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用した事業の実施状況及び効果検証(令和3年度配分)

No.	担当課	事業名	事業概要	始期	終期	総事業費(円)	定量的実績指標	事業効果
1	健康づくり課	感染症予防対策事業	新型コロナウイルス等の感染症発生時やコロナ禍における災害時に備え、備蓄品や関係用品等を購入する。	R3.4.1	R4.3.31	284,589	・除菌スプレー 本体398円×5本×1.1=2,189円 詰め替え1,848円×1本×1.1=2,032円 ・ハンドソープ(42) 3,600円×1本×1.1=3,960円 ・ハンドソープディスペンサー 2,980円×2台×1.1=6,556円 ・ペーパータオル(200枚×30袋) 5,400円×1箱×1.1=5,940円 ・ガウン(100枚入)12,941円×10箱×1.1=142,351円 ・N95マスク(50枚入)7,058円×10箱×1.1=77,638円 ・その他消耗品(携帯用酸素吸入器ほか)43,923円 合計 284,589円	必要な備蓄品や関係用品を購入し、避難施設に整備することで、災害時の感染拡大防止体制を整備することができた。
2	教育総務課	新型コロナウイルス感染症拡大防止対策費	新型コロナウイルス感染症拡大(クラスター発生)を防止するため、職員等の感染が確認されたときは、執務室や学校等の公共施設の消毒を実施する。	R3.4.1	R3.6.30	1,654,950	市内小中学校(3箇所) 合計1,654,950円	新型コロナウイルス感染症の感染者が発生した公共施設の消毒作業を迅速に行うことで、市内小中学校の利用休止による市民生活への影響を最小限にとどめることができた。
3	商工観光課	中小企業等経営支援給付金給付事業	新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響を受ける市内中小企業者等の事業の継続を支援するため、支援金を給付する。	R3.9.1	R4.1.31	73,376,836	・給付金:合計72,800,000円 内訳 20%以上減少 100千円×728件=72,800,000円 ・事務費:合計576,836円 内訳 人件費437,509円(会計年度任用職員:報酬422,688円、費用弁償14,821円)、消耗品費58,603円、印刷製本費80,724円	新型コロナウイルス感染症の影響の長期化や度重なる緊急事態宣言の発出により、経営に深刻な影響を受けている市内の中小企業者等に対し、支援金を給付したことで、売り上げ減少による経営難に苦しむ事業者の事業の維持・継続に資することができた。
4	農水産課	農水産業経営支援給付金給付事業	新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響を受ける市内農水産業者の事業の継続を支援するため、支援金を給付する。	R3.9.1	R4.1.31	42,248,364	・給付金:合計42,200,000円 内訳 20%以上減少 100千円×422件=42,200,000円 ・事務費:合計48,364円 内訳 消耗品費:5,292円、印刷製本費:43,072円	新型コロナウイルス感染症拡大に伴う外出自粛の長期化などにより、経営に深刻な影響を受けた農水産業者の経営安定に資することができた。 給付件数:422件
5	子育て支援課	新生児特別定額給付金給付事業	新型コロナウイルス感染症の影響で不安を抱えながら妊娠期間を過ごし出産を迎え、子どもを養育する母親に対して、安心して出産育児ができる環境整備の一助となるよう、経済的支援のために給付金を支給する。	R3.5.1	R4.4.31	39,700,000	給付金:39,600千円(R3.4.2以降出生児) 給付金:100千円(R3.4.1出生児) 合計 397人×100千円=39,700千円	不安を抱えながら妊娠期間を過ごし出産を迎えた母に給付金を支給することで、安心して育児ができる環境整備の一助となった。給付対象を拡大し、更なる経済的支援を図ることができた。
6	教育総務課	市外小中学校等に在学児童生徒臨時給付金	市外の小中学校等に就学している児童生徒の保護者に対し、給食費の減免額を上限に給付金を支給し、経済的負担の軽減を図る。	R3.10.1	R4.3.31	3,016,150	【小学校(特別支援学校含む)】 ・4,190円×6ヶ月累計人数365人=1,529,350円 【中学校(特別支援学校含む)】1,530千円 ・4,720円×6ヶ月累計人数315人=1,486,800円	市外の小中学校等に就学している児童生徒の保護者に対し、給食費の減免額を上限に給付金を支給し、経済的負担の軽減を図ることができた。 対象児童生徒118名のうち116名が申請。
7	教育総務課	市内小中学校給食費	新型コロナウイルス感染症による所得減少などの対策として、令和3年10月から令和4年3月までの6ヶ月間の給食費を免除し、保護者の経済的負担を軽減する。	R3.10.1	R4.3.31	112,699,740	・小学校 延べ16,893人 70,754,080円 10月～2月累計 58,963,420円 3月 11,790,660円 ・中学校 延べ9,270人 41,945,660円 10月～2月累計 36,109,890円 3月 5,835,770円	小中学校児童生徒の学校給食費の6か月間無償化を実施したことにより、子育て世帯の経済的負担の軽減を図ることができた。
8	子育て支援課	就学前児童応援臨時給付金給付事業	新型コロナウイルス感染症の影響により、不安を感じながら生活様式の変更を伴う育児を余儀なくされている市内在住の小学校就学前児童を子育てする世帯を対象に、生活の安定を支援するための臨時給付金を支給する。	R3.5.1	R4.3.31	80,886,009	・給付金合計:80,040,000円 内訳 就学前児童2,668人×30千円=80,040,000円 ・事務費合計:846,009円 内訳 人件費988,185円(会計年度任用職員:報酬489,161円、社会保険料99,024円)、消耗品費1,089円、通信運搬費256,735円	新型コロナウイルス感染症の影響を受ける子育て世帯に給付金を支給することで、経済的負担の軽減が図られた。
9	企画政策課	新型コロナウイルス感染症対応空床確保支援事業	千葉県が実施する千葉県新型コロナ感染症対策事業のうち病床確保支援事業への上乗せ支援を行うことで感染症患者の受け入れ体制の継続を支援する。	R3.11.1	R4.5.27	89,480,000	・一般病床:10千円×年間累計5,096床=50,960,000円 ・ICU:60千円×年間累計642床=38,520,000円	コロナ感染者の迅速な受入の観点から、受入病床を確保するため、一般患者を受け入れられない病床に対する空床確保支援金を新型コロナウイルス感染症の重点医療機関に指定されている旭中央病院に交付することで、病院の医療体制の維持や経営の安定を図ることができた。
10	商工観光課	旭市プレミアム付共通商品券発行事業	プレミアム付商品券を発行し、地域住民の購買意欲を高め、新型コロナウイルス感染症の拡大等により、大きな影響を受けている地域経済の活性化を図る。	R3.4.1	R4.2.28	67,501,615	・プレミアム分:59,701,615円 内訳 商品券10,000円×30%×20,000セット=60,000,000円 -戻入298,385円=59,701,615円 ・商品券換金手数料:7,800千円 内訳 発行額260,000千円×3%=7,800千円 (発行額260,000千円=1,000円/枚×13枚綴り×20,000セット)	令和2年度に引き続き、令和元年度まで10%であったプレミアム率を30%に増額したプレミアム付共通商品券発行事業により、消費者の購買意欲を促すことで、新型コロナウイルス感染症拡大により急激に落ち込んだ地域経済の回復に繋がった。また、商品券の換金手数料についても助成することで、商品券を利用する店舗の負担軽減に資することができた。

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用した事業の実施状況及び効果検証(令和3年度配分)

No.	担当課	事業名	事業概要	始期	終期	総事業費 (円)	定量的実績指標	事業効果
11	健康づくり課	インフルエンザワクチン接種費用助成金	新型コロナウイルス感染症と季節性インフルエンザの同時流行による医療崩壊を防ぐため、高齢者のほか、妊婦等の対象者に接種費用の一部を助成する。	R3.4.1	R4.3.31	26,447,940	<ul style="list-style-type: none"> <li>・65歳以上 2,000円×12,000人=24,000千円</li> <li>・生活保護受給者 4,400円×100人= 440千円</li> <li>・6か月～小2 1,000円×2,340人×2回= 4,680千円</li> <li>・妊婦 1,000円× 210人= 210千円</li> <li>・65未満内部障害身障 1,000円×90人= 90千円</li> <li>・64～65歳 2,000円× 168人= 336千円</li> </ul>	インフルエンザワクチン接種の費用助成を適切な時期に周知した事により、接種を促進することができたため、新型コロナウイルスとの同時流行を防ぐことができ、市民の重症化予防及び医療体制の安定的な確保につながった。
<b>合計</b>						537,296,193		